

# 海峡と方言

——大分と愛媛・佐田岬——

鎌田良二

一

海峡は方言の境界になるものかどうか。日本には多くの海峡がある。

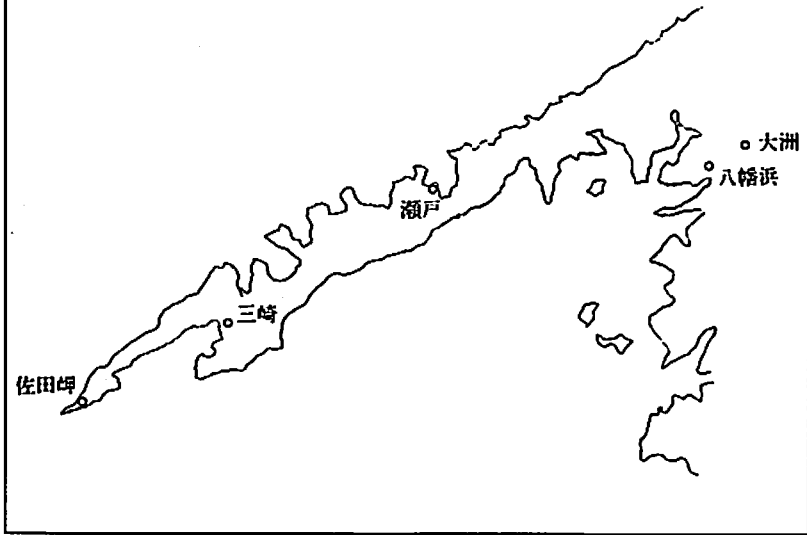
これについて、柴田武者著『方言論』「ことばの地域差」に次のようにある。

「海はことばの違いをつくり出すが、半面、海はことばを結びつけもする。海はバリケードであるとともに容易で安全な交通路でもあった」

私の住む兵庫県で見れば、淡路島と徳島（阿波）について金沢浩生氏は次のように記している。

「阿波は文化経済上、古くから京阪（上方）の影響を強く受けてきたが、淡路はその通路であった。江戸時代には淡路が阿波藩に入っていたことから、人形浄瑠璃・藍・塩などを通じて一層交流が盛んになった。これが方言の面にも表れ、阿波・淡路に共通した古い上方語が残っている。特に南淡地方には、阿波の鳴門・津田・和田島・橘・海部

## 愛媛県



といった海岸地方と似通った方言がある。また徳島市を中心とする表現法と同じものが若干ある。……阿波・淡路の類似性は古い上方語に由来するものが多く……」（『ひょうごの方言・俚言』和田実・鎌田良二編・神戸新聞総合出版センター刊）

これに対して同書の「紀淡海峡」について村内英一氏は「淡路と和歌山（主に北部）とは、かなり交渉があるが、ことは遣いの上では、同より異の方が一般的に意識されている。」とある。

さて、本題の豊後水道を隔てた大分市・別府市と愛媛県西宇和郡三崎町・瀬戸町との関係はどうか。

まず、方言的条件はアクセントが異なる。

大分県側の二市は、ほぼ東京式であるが二音節名詞の第一類と第二類とが統合してともに平板型になっている。

隣の日向では、これが崩れてアクセントの型知覚のない崩壊アクセントになっている。

これに対して愛媛県西南部はもともと複雑なところであるが、西宇和郡三崎町あたりは京阪式アクセントに似た崩壊アクセントになっている。

別府行運賃表				時刻表					
2等	1120	7等未満	9800	自転車	570	三崎発別府着別府発三崎着			
1等	2250	8等	11200	原付自転車	1130	4:40	6:50	2:00	4:10
特等	3360	9等	12600	二輪自動車	1700	10:00	12:10	7:20	9:30
3等未満	4200	10等	14000	小荷物	560	16:30	18:40	12:40	14:50
4等	5600	11等	15400	大荷物	1130	22:20	0:30	19:20	21:30
5等	7000	12等	16800	手荷物	1700	宇和島運輸株式会社			
6等	8400	13等	18200	手荷物	460				

別府市教育委員会の人の話では、別府市に伊子屋のような愛媛から来たことを示す屋号の店が多いという。

一一

右のようなことから今回は文法項目を中心に若干の語彙を加えた。

大きく言えば、大分の乙種アクセントに対して愛媛の甲種のアクセントということになる。一般にアクセントの違いが方言の違いといわれている。

それでは、結局、何も共通するものがないのではないかと言われるとそうではあるが、まず、二段活用動詞が両者にあること。そして、昭和四十二年の私の調査で南予、宇和島から高知県に入る一帯で、助詞「て」が「ち」になること。これは金田一京助先生の『国語音韻論』に、大分の例として「行って見えてきてくれ」をイッチミキチクリーが出ていることを思い出し、南予と大分をくらべようと、この二つ（二段活用と「て」が「ち」）を手がかりに調査を思い立った次第である。それが果して「海峡」ということとどういう関係かを考察したいというのが本論のねらいである。

なお、両地点の交通について記す。

愛媛県八幡浜市から別府市に日に四便のフェリーが出ている。三崎町からも同じ四便。（所要時間二時間十分）八幡浜市から三崎町まで七、八年前まではバスで三時間以上かかっていたが、現在は半島の頂上に国道ができてタクシーで五十分で行けるようになった。三崎町役場の話では別府方面への海底トンネルの計画費が国から出ているとのこと。

調査は平成七年六月から九月。各地点、五十才代の成人と公立中学校二年生または三年生一クラス男女約四十名。中学生の調査票とその結果は本稿末にパーセントで示す。成人については各項目別の説明で述べることにする。

地点は西から大分市・別府市・愛媛県三崎町・瀬戸町・八幡浜市・大洲市の順で記す。

成人氏名・中学校名は稿末に記す。

可能「起きられる」「受けられる」「来られる」

中学生でオキラルを使うものは大洲市女子・大分市女子各一名、受ケラル大分の男子・女子・別府市男女各一名のみで他は全員オキレル・ウケレルであった。

成人でオキラル・ウケラルは大分・大洲の二地点のみ。

「来られる」はコレルであるが三崎の女子にコレルが一名、成人のコラレルは大分・大洲。

「する」の可能は複雑であるが、一地点に一名だけのものは「表A」には省いたが、大分の女子にサレル。三崎の男子にスラル。八幡浜の男子セレル。別府女子シキルがあった。いずれも、ありそうな言い方である。この一名の分は（表A）から省いたので、大分の男子の合計が百パーセントにはならない。成人は大分でシキル。シキルは九州となる。能力可能「あの子は六才だが、字を読むことができる」

ヨミキルは大分・別府の形、ヨーヨムは京阪型で愛媛の形だが、大分の男子に一名あり、別府の男子にエーヨムが一名あった。ほかにヨメレルが大洲の女子一名。

ヨミキル・シキルは九州の形となる。

状況（条件）可能「暗いはまだ新聞を読むことができる」

能力可能でヨミキルは九州型と言ったが、状況可能のヨミキルは大分ではかなり少なくなっている。しかし、別府には多い。大分では愛媛と同様の共通語化型になったのか。

状況不可能「暗いので新聞を読むことができない」

ヨミキルの否定形となると別府は愛媛と同じヨメンが多くなる。否定のヘンは京阪に多い形だが別府の女子に一名ヨメヘンがあった。瀬戸の女子にも二名のヨマレヘンがある。

二段活用「起クル」「受クル」「過グル」

九州の二段活用は有名だが、愛媛の二段活用については「方言学概説」(国語学会編 武蔵野書院刊)「西日本の方言」(椋垣実)に、南伊予は一部にマ行バ行ウ音便(ツロー・サツタがあつて土佐と共通であり)二段活用動詞さえ残っている。……土佐は文法の特徴では南伊予と共通で、二段動詞はないが……と記してある。

九州側の二地点とも少ないが二段型があり、別府の男子の起クルは起キルと半々、過グル・過ギルもそれに近い。

愛媛は大分県にくらべさらに少ないが、ゼロではない、もとあつたことを示すものである。

成人では大分市に起クン時、受クン時、過グン時があり、別府市で起ケル時があつたほか愛媛側はすべて一段活用になっている。ただ「自分は使わないが、聞いたことはある」の答えもあつた。

否定形「見る」「出る」

見ぬ型の見が四国に多い、九州側はラ行型の見ラン・出ランである。それに、「せぬ」から変つた関西型のヘンが入つて来て、大分の女子に一人見ラヘンがあつた。出ラヘンはまだないようだ。

大分側の成人も、見ラン・出ランで、愛媛の三崎町も、見ラン・出ラン。

最中「今、柿を取っている(取りつつある)最中」

トリヨルは愛媛、「居る」をオルとイルに分け、トリオルからトリヨルになるのだからオル地域のみある形ということになっている。大分側にもかなりトリヨルが多くなつてきていることがわかる。

他の地点にはないトロンが三崎にある、トリオルからの変化と見られる。

大分側の成人は、取りヨン、取りヨル。

完了「すでに取ってしまったている」

大分、別府ではチョル・チョーが目立つ、チョーはチョルに含めてしまったが、大分の女子にトチョーも一人あった。このチョルは最中の方にもあるが、「取ってしまったている」の意の方が強いのだろう。

愛媛・三崎の成人取ツチョライ。八幡浜取ツチョル。と、大分のチョル系が入っている。

打消意志「行かないでおこう」

愛媛の瀬戸中学校で調査に同席して下さった国語の先生が、「ここではマイの形がないで生徒が記入に困っているようです」と言われたように愛媛側は少ないようだが大洲市にはあるようだ。大分側にはイキメも含めてマイが多い。

打消意志「死なないでおこう」

マイの上がシナ・シヌ・シノのうち大洲と大分ではシナが多い。これはシナナイとの連想からくるものだろうか。

打消意志「来ないでおこう」

愛媛の三崎などにコンがあるが、これは単なる打消で、「ないでおこう」の意志のところが出てないではないかという疑問があるかと思うが、これには「絶対に」「二度と」などの語が上につくものと考えられる。

八幡浜の成人、コンゾにもそれが現れているものと思う。

打消意志「しないでおこう」

これもマイの上がスン・スル・セン・ンなどがあるが、このンに既に否定の意があるのか、ということだが、センのンは「せぬ」かもしれないが、スンのンはスルマイのルで、「わからない」がワカンナイ、古語の「なるめり」がナンメリとなるのと同じう行脱落の形のルがンになったものと思われる。

ここのセンも、先の(来)コンと同じく、上に「絶対に」「二度と」の意がつくものと思う。

打消過去「書かなかった」

共通語形のカカナカッタをもとにした形が多いが、カカナイのナイガンになるもの、それにヘンが入るものがあり、後でもふれるが、カカンヤッタのヤが別府と大洲にある。

使役(書)(米)(捨)

愛媛の方は、書カスで、大分は、書カセルである。(米)でも愛媛がコラスに対し、大分はコラセルがある。

(捨)も愛媛のステラスに対し、大分でステラセルがある。

否定・形容詞(高)

これも変化形が多いが、(高)タカカカケか、クが入るか、入らないか、また、間に、タケーコトのようにコトが入るかのことである。三崎の男子はいろいろ分かれるが、女子は百パーセント「高イナイ」である。

推量「書くだろう」

大分・愛媛の九州と四国の大部分は指定(断定)助動詞「だろう」はジャローでジャの地域と置いていたが、大分の男子と大洲にジャがある程度で、関西型のヤがかなり多いことがわかった。瀬戸町など男女ともヤで、女子のジャがゼロになっている。八幡浜の女子もそうである。その分タの方に行っている。

大分・三崎・瀬戸でのタの男女別はいずれも女子の方が多い。女子の方が共通語形を早く取り入れる。別府では男子がジャで、女子がヤになっている。中国地方でもジャ地域にヤが入って来ているが、そのヤを早く取り入れているのが若い女性である。この(表A)を見てもこの辺りでも同じであることがわかる。

成人では、各地五十才代だがジャが多く、瀬戸町と八幡浜市がヤであった。さらに念を押して八幡浜の成人に、「これは何だ」とたずねるときにはと聞くと「ナンナラ」と言う答え、「では、机だ」と言うときは、「机ナラ」という答え。結局、タは使われない、普通にヤを使うという答えであった。

(表A)

## 3 状況可能 (説)

	ヨメル	ヨマレル	ヨミキル	ヨメレル	エーヨム
大分	男 67	11	22	、	、
	女 79	7	7	、	、
別府	男 10	、	85	、	5
	女 26	、	74	、	、
三崎	男 ◎	、	、	、	、
	女 ◎	、	、	、	、
瀬戸	男 85	5	、	、	、
	女 ◎	、	、	、	、
八幡浜	男 95	、	、	5	、
	女 95	、	、	5	、
大洲	男 ◎	、	、	、	、
	女 95	、	5	、	、

◎は100%の意

## 2 能力 (説)

	ヨミキル	ヨーヨム	ヨメル	ヨクヨム
大分	男 90	5	5	、
	女 84	、	16	、
別府	男 85 (5)	10	、	、
	女 74	、	26	、
三崎	男 3	94	3	、
	女	、	85	15
瀬戸	男 5	90	5	、
	女 9	82	9	、
八幡浜	男 5	65	30	、
	女	、	72	28
大洲	男 13	41	29	17
	女	、	83	12

( ) は「エーヨム」

## 1 可能 (する)

	セラレル	シラレル	ヤラレル	ヤラレル	デキル
大分	男 35	22	、	、	43
	女 17	25	、	、	60
別府	男 33	51	、	8	8
	女 8	50	、	、	34
三崎	男 20	36	10	、	25
	女 84	16	、	、	、
瀬戸	男 28	36	5	、	31
	女 30	30	20	、	20
八幡浜	男 35	31	4	9	17
	女 38	、	8	、	54
大洲	男 25	34	、	、	41
	女	、	50	8	42

## 5 二段活用 (起・受・過)

	起キル	起クル	受ケル	受クル	過ギル	過グル
大分	男 93	7	86	7	93	7
	女 85	15	◎	、	84	16
別府	男 50	50	65	35	54	46
	女 87	13	◎	、	93	7
三崎	男 85	15	92	8	74	26
	女 ◎	、	◎	、	◎	、
瀬戸	男 68	32	85	15	85	15
	女 ◎	、	◎	、	85	15
八幡浜	男 90	10	◎	、	88	12
	女 94	6	94	6	94	6
大洲	男 ◎	、	85	15	◎	、
	女 95	5	◎	、	◎	、

大分の男に「受キルー7」あり

## 4 状況不可能 (説)

	ヨメレン	ヨメレン	ヨマレン	ヨマレヘン	ヨミキラン	ヨメナイ
大分	男 55	、	15	、	25	5
	女 21	、	37	、	21	21
別府	男 70	、	15	、	5	10
	女 45	10	15	、	15	10
三崎	男 ◎	、	、	、	、	、
	女 ◎	、	、	、	、	、
瀬戸	男 95	、	5	、	、	、
	女 72	18	、	10	、	、
八幡浜	男 40	60	、	、	、	、
	女 61	34	、	、	、	5
大洲	男 80	、	、	、	5	15
	女 ◎	、	、	、	、	、



7 般中 (取)

	トリヨル	トッテイル	トッチョル	トロル	トッテル
大分	男 48	42	5	、	5
	女 43	50	7	、	、
別府	男 41	59	、	、	、
	女 57	27			16
三崎	男 62	4	4	30	、
	女 ◎	、	、	、	、
瀬戸	男 90	5	、	5	、
	女 90	10	、	、	、
八幡浜	男 60	40	、	、	、
	女 95	5	、	、	、
大洲	男 75	20	、	、	5
	女 90	10	、	、	、

6 否定 (見・出)

	見ラン	見ン	見ヘン	見ナイ	出ラン	出ン	出ヘン	出ナイ
大分	男 70	24	6	、	90	、	5	5
	女 80	5	10	5	76	、	6	18
別府	男 50	26	24	、	57	32	11	、
	女 53	26	18	3	62	26	8	4
三崎	男 41	53	4	2	33	58	4	5
	女 33	67	、	、	28	72	、	、
瀬戸	男 14	82	4	、	18	78	4	、
	女 8	84	8	、	10	80	10	、
八幡浜	男 、	70	10	20	、	82	18	、
	女 、	73	5	22	、	65	10	25
大洲	男 、	70	22	8	4	72	16	8
	女 、	82	18	、	、	78	22	、

9 打消意志 (行)

	行カントコ	行カン	行カンマイ	行カンテヨ	行カナイ	行カマイ	行カナイテオコ	行コマイ	行キマイ	行キノ
大分	男 、、	6	、	、	26	68	、	、	、	、
	女 、、	、	、	、	8	51	、	、	、	、
別府	男 、、	18	、	、	46	9	18	9	、	、
	女 、、	12	、	、	64	、	、	12	12	、
三崎	男 20	48	4	12	16	、	、	、	、	、
	女 、、	◎	、	、	、	、	、	、	、	、
瀬戸	男 18	38	7	、	25	12	、	、	、	、
	女 85	15	、	、	、	、	、	、	、	、
八幡浜	男 26	58	、	、	16	、	、	、	、	、
	女 58	30	、	、	12	、	、	、	、	、
大洲	男 、、	15	、	、	22	63	、	、	、	、
	女 16	、	、	、	16	68	、	、	、	、

8 完了 (取)

	トットル	トッテイル	トッテル	トッチョル	トットイ	トットライ
大分	男 30	42	5	23	、	、
	女 21	44	14	21	、	、
別府	男 20	70	、	10	、	、
	女 、、	72	7	21	、	、
三崎	男 59	4	、	26	7	4
	女 85	15	、	、	、	、
瀬戸	男 84	16	、	、	、	、
	女 78	22	、	、	、	、
八幡浜	男 65	35	、	、	、	、
	女 84	16	、	、	、	、
大洲	男 73	27	、	、	、	、
	女 54	23	23	、	、	、

11 打消意志 (米)

	(米)	コン	コナイ	コマイ	クマイ	コンマイ	コナイデオコ	キマイ
大分	男	7	36			57		
	女	9	27			64		
別府	男		80	20				
	女	11	34	22	22	11		
三崎	男	14	62	24				
	女	◎						
瀬戸	男	8	30	46	16			
	女	80	20					
八幡浜	男	26	52	22				
	女	54	24	12	5	5		
大洲	男		24	24	52			
	女	6	16	56	16	6		

10 打消意志 (死)

	死ナントコ	死ナン	死ナンマイ	死ナンイ	死ナイデオコ	死ナマイ	死ノマイ	死ヌマイ	死ナメ
大分	男		7	58	35				
	女			79	7	7	7		
別府	男		40		50	10			
	女	14			72		14		
三崎	男	4	70	22	4	6			
	女	◎							
瀬戸	男	21	34	6	27	6			
	女	80	20						
八幡浜	男	27	47	10	10	6			
	女	58	30	20					
大洲	男		22	15	58	5			
	女			16	84				

13 打消過去 (婚)

	書カナンダ	書カナカッタ	カケンカッタ	カケンカッタ	カカヘナンダ	カカンヤッタ	カカザッタ	カカヘンカッタ
大分	男	67	33					
	女	42	58					
別府	男	70	25					
	女	5	50	30	5	10		
三崎	男	8	16	72	4			
	女	34	66					
瀬戸	男	34	16	50				
	女	20	80					
八幡浜	男	30	20	50				
	女	12	16	72				
大洲	男	6	35	48	11			
	女	10	26	58	6			

12 打消意志 (する)

	セントコ	セン	センマイ	スンマイ	シマイ	シナイ	スルカイ	スルマイ	シナイデオコ
大分	男		57	7		14	22		
	女	7	37	7			49		
別府	男	7	14	37	14		14	14	
	女	21	35	21		23			
三崎	男	65	15	4	8	8			
	女	◎							
瀬戸	男	44	38	6	6	6			
	女	◎							
八幡浜	男	65	13	12	5	5			
	女	44	44		6	6			
大洲	男	24	42	12	5	17			
	女	34	6	40	14	6			

15 使役 (拾)

		捨 テ サ ス	ステ ラ ス	ステ サ セ ル	ステ ラ セ ル
大分	男	38	31	31	、
	女	31	31	31	7
別府	男	40	40	20	、
	女	60	28	12	、
三崎	男	12	88	、	、
	女	14	86	、	、
瀬戸	男	5	95	、	、
	女	14	86	、	、
八幡浜	男	22	73	5	、
	女	30	70	、	、
大洲	男	84	、	16	、
	女	84	16	、	、

14 使役 (書)

		書 カ ス	カ カ セ ル	カ カ サ ス	(米)	コ ラ ス	コ ラ セ ル	キ サ ス	ク ラ ス	コ ラ セ ル	キ ラ ス
大分	男	22	78	、		15	55	15	、	10	5
	女	7	93	、		36	28	28	、	8	、
別府	男	30	70	、		52	33	5	5	、	5
	女	26	74	、		33	47	15	5	、	、
三崎	男	82	18	、		24	73	、	、	3	、
	女	60	40	、		37	63	、	、	、	、
瀬戸	男	83	12	5		、	88	、	6	6	、
	女	50	50	、		20	80	、	、	、	、
八幡浜	男	64	36	、		43	52	5	、	、	、
	女	77	18	5		47	53	、	、	、	、
大洲	男	66	34	、		95	、	、	5	、	、
	女	80	20	、		77	11	6	6	、	、

17 推量 (書)

		書 ク ゲ ロ	カ ク ジ ヤ ロ	カ ク ヤ ロ	カ ク ロ	カ ク ガ ヤ ネ ー ヤ	カ コ ー ガ	カ ク テ シ ヨ
大分	男	27	15	48	5	、	、	5
	女	42	、	42	8	、	、	8
別府	男	15	60	20	5	、	、	、
	女	、	20	75	、	、	、	5
三崎	男	8	8	76	4	4	、	、
	女	15	、	85	、	、	、	、
瀬戸	男	5	5	90	、	、	、	、
	女	20	、	80	、	、	、	、
八幡浜	男	15	10	75	、	、	、	、
	女	6	、	88	6	、	、	、
大洲	男	10	58	22	5	、	5	、
	女	10	68	17	、	、	、	5

16 否定 (形容詞)

		高 ク ナ イ	タ カ ク ネ ー	タ ケ ク ナ イ	タ ケ ク ネ ー	タ ケ ネ ー	タ ケ ー コ ト ネ ー	タ コ ー ナ イ	タ カ ー ナ イ	タ カ イ ナ イ
大分	男	85	、	5	、	、	、	10	、	、
	女	◎	、	、	、	、	、	、	、	、
別府	男	80	、	、	、	、	、	20	、	、
	女	80	5	、	、	、	、	15	、	、
三崎	男	43	13	4	13	20	4	4	、	、
	女	◎	、	、	、	、	、	、	、	、
瀬戸	男	82	、	、	、	、	、	18	、	、
	女	80	、	、	、	、	、	10	10	、
八幡浜	男	80	、	、	、	、	、	20	、	、
	女	95	、	、	、	、	、	、	5	、
大洲	男	64	、	、	、	、	、	24	、	12
	女	68	、	、	、	、	6	26	、	、

言葉調査の(表B)で、見出しの語のあとの(エ)は愛媛県の資料、(オ)は大分県の資料から取ったもの。地名の横ABCは、調査票に記した意味で、A「この語形を使う」、B「自分は使わないがよく聞く」、C「聞いたこともない、使わない」の三つに分けた。

1 オ見ル「ごらんになる」(エ)

2 オシル「なざる」(エ)

愛媛の資料だが大分にもかなりあるようだ。成人でオ見ルは瀬戸と大洲で使う。オシルは別府と大洲で使う。

3 アンナ人カタチ、ヤツタチ、イクモンカ。「あんな人なんか、やっても(しても)駄目だ」(エ)

この中のチは助詞「て」の意味。三崎の男子に使用が多い。成人で使うは愛媛よりも大分と別府、三崎、八幡浜であった。

4 アテチャチ、アキ(ラ)イデ。(私だって、できますよ)

意味内容から、このようなことは言わないのが女子。三崎の成人では、アテは使わないがオラーチの形で使う。

5 子供イ泣キヨル。(子供が泣いている)(オ)

主格助詞「が」が、イになるか。別府ではかなりある。「使う」「聞く」を合せると五十パーセント。大分の資料だが三崎・瀬戸の愛媛側にも入って来ていることがわかる。

6 タバクー、スー。「煙草を吸う」(オ)

助詞「を」の融合、やはり、愛媛より大分の方に「聞く」が多い。以下五項は助詞の融合。音韻変化。

7 クー「来よう」、ヒルーチ「拾って」、ユージ「読んで」、キュー「今日」、トリユー「鳥を」、サキュー「酒を」  
(オ)

大分の資料で、愛媛の女子は殆ど「聞かない」である。大分側では「使う」「聞く」もいくらかある。成人では大分市でユージ「読んで」、キュー「今日」以外は使う。三崎の成人ヒロチ「拾って」と短くなる。

8 ドキイタン「どこへ行った」、ウチークイー「うちへ来い」

助詞「へ」の融合。(オ)

大分の資料だが、「聞く」では八幡浜にもかなりある。ドキイは大分・別府では約半数位ある。成人は大分・別府ともドキイ・ウチークイーを使う。

9 ヒキイ「低い」、クリー「黒い」(オ)

(E・O・V三) ヒキイの方は大分・別府から愛媛の半島の三崎・瀬戸まで九十パーセント近くある。クリーは大分側であるが、このような音韻変化は広まるものかと思った。成人のヒキイも大分側と三崎・瀬戸まで、クリーは大分側と三崎までとなっている。八幡浜ではクレーとなる。

10 アケー「赤い」、シリー「白い」(オ)

同じく連母音融合で、(E・V・O・O・V三) 大分資料で愛媛の半島三崎・瀬戸まで来ている。アケーの方は八幡浜・大洲まであるが、シリーで止まっている。成人も同じシリーは三崎町まで使う。

11 マンガンジョー「漫画ばかり(読む)」(オ)

マンガカラコ「漫画など」(オ)

ジョーは大分側のみ、成人も大分側と三崎までを使う。

カラコは大分も愛媛もない。成人も同じ。別府・大洲の男子で「使う」、その他で「聞く」があるのは、この辺りに確

かに昔あった証換になる。

マンガハッチャ「漫画しか」(オ)

別府と八幡浜に「使う」がある。他は、「聞く」が少しある程度。

12 オレガ、知ツテクセ「俺が知っているものか(反語・知っているはずがないよ)」(オ)

大分の例で、大分・愛媛ともにわずかではあるが「使う」があり、成人は大分・別府ともに、「今では使う人も少なくなつたが、たまに使う」という答えであつた。

13 入レ物ゴミ買う、皮ゴミ食ウ「入れ物ごと・皮ごと」(エ)

別府・瀬戸で「使う」。成人、大分ゴチ、三崎・瀬戸ゴミ、八幡浜ゴシ、大洲ゴメであつた。三崎・瀬戸にこの形が残つて他は少しずつ変化した形になつた。

14 有リシ皆持ツテ「あるだけ皆持つて」(エ)

中学生で少ないが、成人の瀬戸では「使う」という。

15 百円ガン計ツテ「百円分計つて(量的なもの)」(エ)

これは成人も少なく、大分・別府ガナ、瀬戸・八幡浜・大洲は「ガ」となっている。

16 明日シナ雨ゾイ「明日ぐらい雨だ」(エ)

中学生、三崎に「使う」があり、他は「聞く」程度。

以上が中学生・成人を対象としたものであるが、ほかに成人だけにたずねたものがある。

17 フチー箱「大きい箱」(オ)

大分・三崎が使う。これは「太い」の意でフチーとなるものが、大分・南子で「て」が「チ」になることから、フチーがフチーとなつたものか。

18 ヨダキー「大儀な・おつくうな・面倒な」(オ)

大分の例で、大分・別府は普通に使うが、三崎では「使う」が、「これは新しい、最近使うようになった語」という。

19 スツネー「情ない・術ない・方法がない」(オ)

大分・別府で「使う」、八幡浜では「聞く」。

20 ガイナ「けたはずれたさま・ガイニ冷たい今朝の雪」(オ)

大分・愛媛の六地点すべてで「使う」であった。

21 ソーツク「歩き廻る」(オ)

別府と三崎で「使う」。

22 イラバカス・イラスカス「からかう・愚弄する・だます」(オ)

大分・別府で「使う」。三崎では「いびる」の意。大洲では「くすぐる」の意で使うという。これは大分から愛媛に来る間に「意味変化」したものであろう。

23 モドカス「もどかしがらせる・いらいらさせる」(オ)

大分・別府と大洲で「使う」。

24 イッチ、ミチ「行つて見て」(オ)

念のために助詞「て」がチになることをたずた。六地点すべて「使う」であった。

(表B)

		オ見ル		オシル		カタチ		アテジャチ		子供イ	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大分	A	5	、	、	、	5	、	、	、	5	、
	B	20	14	5	14	10	20	5	7	5	20
	C	75	86	95	86	85	80	95	93	90	80
別府	A	10	20	、	5	5	5	10	、	20	5
	B	36	15	15	15	25	30	25	10	30	15
	C	54	65	85	80	70	65	65	90	50	80
三崎	A	、	、	、	、	65	、	8	、	16	、
	B	4	、	、	、	5	16	14	、	8	、
	C	95	◎	◎	◎	30	84	78	◎	76	◎
瀬戸	A	10	、	、	、	16	、	5	、	5	、
	B	16	、	26	、	、	20	15	、	20	、
	C	74	◎	74	◎	84	80	80	◎	75	◎
八幡浜	A	5	、	、	、	5	、	、	、	5	、
	B	5	5	10	5	20	16	20	20	、	、
	C	90	95	90	95	75	84	80	80	95	◎
大洲	A	、	6	、	10	0	、	、	、	10	、
	B	37	47	48	70	5	、	5	、	、	5
	C	63	47	52	20	95	◎	95	◎	90	95

		タバコ		ク		ヒルーチ		ユージ		キュー	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大分	A	、	、	、	、	5	、	5	、	5	、
	B	16	7	、	14	17	20	、	、	、	、
	C	84	93	◎	86	78	80	95	◎	95	◎
別府	A	15	5	15	、	15	10	20	、	15	、
	B	10	10	15	5	15	15	5	20	5	10
	C	75	85	70	95	70	75	75	80	80	90
三崎	A	、	、	、	、	4	、	4	、	4	、
	B	4	、	4	、	12	、	、	、	4	、
	C	96	◎	96	◎	84	◎	96	◎	92	◎
瀬戸	A	5	、	、	、	20	、	15	、	20	、
	B	15	10	10	、	5	、	10	、	、	、
	C	80	90	90	◎	75	◎	75	◎	80	◎
八幡浜	A	5	、	、	、	5	5	、	5	5	5
	B	15	5	、	5	10	15	5	5	、	、
	C	80	95	◎	95	85	80	95	90	95	95
大洲	A	5	、	5	、	5	、	5	、	5	、
	B	10	5	10	、	、	10	、	5	、	5
	C	85	95	85	◎	95	90	95	95	95	95



		トリュー		サキュー		ドキー		ウチータイ		ヒキー	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大分	A	5	、	、	、	5	、	5	、	90	42
	B	、	14	5	14	10	50	、	23	10	58
	C	95	86	95	86	85	50	95	77	、	、
別府	A	25	、	20	、	15	10	25	5	75	70
	B	、	5	10	5	15	40	10	15	10	20
	C	75	95	70	95	70	50	65	80	15	10
三崎	A	、	、	、	、	、	、	、	、	85	67
	B	、	、	4	、	4	、	12	、	12	33
	C	◎	◎	96	◎	96	◎	86	◎	3	、
瀬戸	A	5	、	5	、	10	、	10	、	90	20
	B	5	、	、	、	5	10	5	、	10	60
	C	90	◎	95	◎	85	90	85	◎	、	20
八幡浜	A	、	5	、	5	5	5	5	5	60	27
	B	、	、	5	5	10	27	16	16	20	68
	C	◎	95	95	90	85	68	79	79	20	5
大洲	A	、	、	、	、	5	5	5	、	45	22
	B	5	5	5	、	5	5	5	5	30	36
	C	95	95	95	◎	90	90	90	95	25	42

		クリー		アケー		シリ		ジョー		カラコ	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大分	A	35	35	80	35	27	28	22	、	、	、
	B	35	65	15	65	57	72	33	65	5	、
	C	30	、	5	、	16	、	57	35	95	◎
別府	A	55	30	75	40	55	30	40	17	5	、
	B	25	53	15	60	20	53	30	66	、	、
	C	20	17	10	、	25	17	30	17	95	◎
三崎	A	14	20	85	34	25	30	、	、	、	、
	B	22	30	15	66	20	20	、	、	4	、
	C	64	50	、	、	55	50	◎	◎	96	◎
瀬戸	A	25	、	55	10	10	、	、	、	、	、
	B	、	20	15	80	10	10	5	、	5	、
	C	75	80	、	10	80	90	95	◎	95	◎
八幡浜	A	5	5	54	40	5	5	、	5	、	、
	B	10	5	26	60	10	10	、	、	、	、
	C	85	90	20	、	85	85	◎	95	◎	◎
大洲	A	10	、	68	22	5	、	5	、	5	、
	B	10	20	10	53	5	5	、	、	、	5
	C	80	80	22	25	90	95	95	◎	95	95

		ハッチャ		クセ		ゴミ		アリシ		ガン	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大分	A	、	、	、	7	、	、	、	、	、	、
	B	、	、	、	、	、	20	、	20	、	、
	C	◎	◎	◎	93	◎	80	◎	80	◎	◎
別府	A	10	、	5	、	、	10	10	、	15	、
	B	5	、	10	10	10	15	10	5	5	、
	C	85	◎	85	85	90	90	80	95	80	◎
三崎	A	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	B	5	、	5	、	5	、	5	、	5	、
	C	95	◎	95	◎	95	◎	95	◎	95	◎
瀬戸	A	、	、	5	、	10	、	5	、	5	、
	B	5	、	5	、	10	、	、	、	5	、
	C	95	◎	95	◎	80	◎	95	◎	90	◎
八幡浜	A	、	5	、	、	、	、	、	、	、	5
	B	5	、	、	5	5	5	10	5	、	、
	C	95	95	◎	95	95	95	90	95	◎	95
大洲	A	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	B	5	、	5	、	5	、	5	5	5	、
	C	95	◎	95	◎	95	◎	95	95	95	◎

		シナ	
		男	女
大分	A	、	、
	B	、	7
	C	◎	93
別府	A	、	、
	B	10	、
	C	90	◎
三崎	A	5	、
	B	、	、
	C	95	◎
瀬戸	A	、	、
	B	5	、
	C	95	◎
八幡浜	A	、	、
	B	、	、
	C	◎	◎
大洲	A	、	、
	B	5	、
	C	95	◎

〈調査系〉

○普段友達と話をする時の言い方について記して下さい。

学年： 年 氏名： 男・女

- 1、「～することができる」の意味で、次の形を使いますか。「使う」場合は、○印を「使わない」場合は、自分の使う形を( )内に記して下さい。

イ、起キレル( )     ロ、受ケレル( )  
ハ、来れる( )     ニ、セラレル( )  
ホ、シラレル( )     【注：ニ、ホ、は、することができるの意】

- 2、①「あの子は6才だが、字を読むことができる。」をどのように言いますか。 (能力可能)  
a、読ミキル     b、ヨ一読ム     c、エ一読ム     d、( )

- ②「暗いが、まだ新聞を読むことができる。」をどのように言いますか。 (状況可能)  
a、読マレル     b、読ミキル     c、読メル     d、( )

- ③「暗いので新聞を読むことができない。」をどのように言います。 (状況不可能)  
a、読マレン     b、読ミキラル     c、読メン     d、( )

- 3、次の言い方をしますか。する場合は○印を、しない場合は自分の使う形を( )内に記して下さい。

a、起クル時( )     b、受クル時( )  
c、過グル時( )     d、見ラン( )  
e、見ン( )     f、ミーヘン( )  
g、出ラン( )     h、出ン( )  
i、デーヘン     【注1：d、e、f、は見ないの意】  
   【注2：g、h、i、は出ないの意】

- 4、①「今、柿を取っている股中(取りつつある)」をどのように言いますか。  
a、トリユ一     b、トリヨル     c、トッテイル     d、( )

- ②「すでに取ってしまっている」をどのように言いますか。  
a、トチュ一     b、トットル     c、トッテイル     d、( )

- 5、①「～ないでおこう(打消意志)」をどのように言いますか。  
行く☞ a、行カマイ     b、行コマイ     c、行カンマイ     d、( )

- 死ぬ☞ a、死ナマイ     b、死ノマイ     c、死ナンマイ     d、( )

- 来る☞ a、来ンマイ     b、来マイ     c、来マイ     d、( )

- ②「しなないでおこう」をどのように言いますか。  
a、センマイ     b、スラマイ     c、スンマイ     d、( )

- 6、「書かなかった(打消過去)」をどのように言いますか。  
a、書カナンダ     b、書カザッタ     c、書カヘンナンダ  
d、書カナカッタ     e、( )

- 7、「～させる(使役)」をどのように言いますか。  
書く☞ a、書カス     b、書カセル     c、( )

- 来る☞ a、来サス     b、来サス     c、来ラス     d、来ラス

- e、( )  
捨てる☞ a、捨テサス     b、捨テラス、     c、( )

- 8、「(使役が)高くない」をどのように言いますか。  
a、タカナイ     b、タカーナイ     c、タコナイ     d、タコーナイ

- e、タカクナイ     f、( )

- 9、①「飛んだ」をどのように言いますか。  
a、ト一ダ     b、トンダ     c、( )

- ②「読んだ」をどのように言いますか。  
a、ヨ一ダ     b、ヨンダ     c、( )

- 10、「書くだらう(推量)」をどのように言いますか。  
a、書クロ一     b、書クジャロー     c、( )

次の1～26の意味のことをカタカナ書きのことでa 言う、(自分は百もないが) b よく聞く、c 聞いたこともない(聞かない)の3つに分け、それぞれに○を付けて下さい。

ことば(意味)	語形	a 言う	b よく聞く	c 聞いたこともない
1 ごらんになる	オ見ル			
2 なさる	オシル			
3 あんな人なんか、やってもグノだ	アンナ人カタチ ヤツチ イクモンカ			
4 私だって できますよ	アテジャチ デキ(ラ) イデ			
5 子供が 泣いている	子ドモ イ 泣キヨル			
6 たばこ を を吸う	タバクスー			
7 来よう	クー			
8 拾って	ヒルーチ			
9 読んで	ユージ			
10 今日	キュー			
11 鳥を	トリュー			
12 酒を	サキュー			
13 どこへ 行った	ドキーイタン			
14 うちへ 来い	ウチークイー			
15 低い	ヒキー			
16 黒い	クリー			
17 赤い	アケー			
18 白い	シリー			
19 漫画 <u>だけ</u> ・ <u>ばかり</u>	マンガンショー			
20 漫画 <u>など</u>	マンガ カラコ			
21 漫画 <u>しか</u>	マンガ ハッチャ			
22 私が <u>知っているものか</u> (反語)	シツテクセ			
23 入れ物 <u>ごと</u> ・ <u>皮ごと</u>	入れ物ゴミ 皮ゴミ(食う)			
24 <u>あるだけ</u> 持って	アリシ モッテ			
25 百円分 <u>計って</u> (量的なもの)	百円 ガン計って			
26 明日 <u>ぐらい</u> 雨だ	明日シナ雨ぞい			

以上です。ありがとうございました。

文法項目を中心に、中学生と成人について調査した。

文法項目からはじめたのは、海峡の交通によってアクセント・音韻までの変化は難しいだろうから語彙・文法に影響するのではないかと思つたからである。

ところが、和歌山県の二段活用と大分県の二段活用は何ら関係なく単なる古形の残存に過ぎない。

それと同様に、大分県の二段活用と愛媛県南子の二段活用も何ら関係なく単に地域的残存と見るべきものか。

青森県のクワの発音と鹿児島県のクワ、東北地方のシエと九州のシエのように古い形が地方に残るだけで、まして「海峡」というようなこととは無関係ではないか。という疑問もあるかと思う。

しかし、大分に二段活用があることは先の中学生の通りであるが、愛媛の南子地方にだけ二段活用があるのはやはり「海峡」ということを意識せざるを得ない。

また、特殊な言い方の(11)のジョー(ばかり)・カラコ(など)・ハッチャ(しか)など大分の資料が愛媛の三崎・瀬戸などに入つて来ていることと合せて海峡交通によるものと考ええる。

この愛媛の半島の交通が衰えるのではなく、七、八年前にできた国道のおかげでさらに交通量が多くなり、フェリーの時間も短縮されると言葉にも影響されることは大きいだろう。

語彙の項で、大分の項が愛媛の項目より多くなつたのも、大分が愛媛に入るか、愛媛が大分に入るかを考えてのことである。今のところ大分が愛媛のこの地域に入ると思っている。その間には語形変化もあろうが、先の(22)イラバカスのように愛媛に入つて「意味・用法」変化するものもあろう。また、その反対愛媛が大分に入ることも多いと思う。

最後に、この稿を成すに当ってご協力下さった方々に厚く御礼・感謝の意を申しあげる次第である。  
お世話になった方々は次の通りである。

大分市立王子中学校・別府市立朝日中学校・愛媛県西宇和郡三崎町立三崎中学校・瀬戸町立瀬戸中学校・八幡浜市立八代中学校・大洲市立大洲南中学校と各市・各町の教育委員会、社会教育課の方々。大分市・志水覚氏、別府市・河野清文氏、三崎町・小林文夫氏、瀬戸町・宮下寛氏、八幡浜市・岩本義孝氏・岡部久美子氏、大洲市・西川弘志氏にお世話になった。

資料としては「大分県史・方言篇」「講座方言学・8・中国四国地方の方言」(国書刊行会・愛媛の方言・江端義夫)「講座方言学・9・九州地方の方言」(大分県の方言・糸井寛一)を活用させて頂いた。

なお、本稿は「平山輝男博士米寿記念論集」の「豊予海峽と方言」拙稿の数字部分が重なるものがあることをお断りしておく。